

営繕工事成績評定目次

		監督員			総括者	検査員		
		建築	電気	機械		建築	電気	機械
評 定	採点表	<a href="#">様式-1 K①</a>						
1.施工体制	I.施工体制一般	<a href="#">様式-2 K①</a>			-	-		
	II.配置技術者	<a href="#">様式-2 K②</a>			-	-		
2.施行状況	I.施工管理	<a href="#">様式-2 K③</a>			-	<a href="#">様式-4 K①</a>		
	II.工程管理	<a href="#">様式-2 K④</a>			<a href="#">様式-3 K①</a>	-		
	III.安全対策	<a href="#">様式-2 K⑤</a>			<a href="#">様式-3 K①</a>	-		
	IV.対外関係	<a href="#">様式-2 K⑥</a>			-	-		
3.出来形および出来ばえ	I.出来形	<a href="#">様式-2 K⑦</a>			-	<a href="#">様式-4 K②</a>		
	II.品質	<a href="#">様式-2 K⑧</a>	<a href="#">様式-2 K⑨</a>	<a href="#">様式-2 K⑩</a>	-	<a href="#">様式-4 K③</a>	<a href="#">様式-4 K④</a>	<a href="#">様式-4 K⑤</a>
	III.出来ばえ	-			-	<a href="#">様式-4 K⑥</a>	<a href="#">様式-4 K⑦</a>	<a href="#">様式-4 K⑧</a>
4.工事特性	I.工事特性	<a href="#">様式-2 K⑪</a>			-	-		
5.創意工夫	I.創意工夫	<a href="#">様式-2 K⑫</a>			-	-		
6.社会性等	I.社会性等	-			<a href="#">様式-3 K②</a>	-		
7.法令遵守等	法令遵守等	-			<a href="#">様式-3 K③</a>	-		
8.その他	その他	-			<a href="#">様式-3 K③</a>	-		
「施工プロセス」チェックリスト		<a href="#">1ページ</a>	<a href="#">2ページ</a>	<a href="#">3ページ</a>	-	-		

## 請負工事成績評定採点表

作成年月日 令和 年 月 日

工事番号		工種(品質)				※6																				担当部課名						
工事名		契約工期				令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日																				契約年月日						
受注者名		変更工期				令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日																				完成年月日						
請負金額		契約工期				令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日																				部分・中間検査年月日						
変更請負金額		変更工期				令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日																				部分・中間検査年月日						
検査項目		監督員					総括者					検査員(部分・中間)					検査員(部分・中間)					検査員(完成)										
項目		職・氏名					職・氏名					職・氏名					職・氏名					職・氏名										
細別		a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																										
	II. 配置技術者	+2.0	+1.0	0	-5.0	-10.0																										
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0						+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0
	II. 工程管理	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0	+13.0	+6.5	0	-7.5	-15.0																					
	III. 安全対策	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+18.0	+9.0	0	-7.5	-15.0																					
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																										
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0						+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0
	III. 出来ばえ											+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I. 工事特性 ※2		+6.0	~	0																											
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※2		+4.0	~	0																											
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※2						+4.0	~	0																							
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		0.0 点					0.0 点					点					点					0.0 点										
評定点 (65±加減点合計) ※1		① 65.0 点					② 65.0 点					③ 点					③ 点					④ 65.0 点										
評定点計 (合計は少数第1位を四捨五入)		$\frac{65}{65} \times 65.0 = 65 \text{ 点}$ ○部分(中間)検査があった場合：( ① 65.0 点×0.5+② 65.0 点×0.1+③ 点×0.2+④ 点×0.2 ) = 点 ※但し、③(部分、中間)が2回以上の場合は平均値 ○部分(中間)検査がなかった場合：( ① 65.0 点×0.5+② 65.0 点×0.1+④ 65.0 点×0.4 ) = 65 点																														
7. 法令遵守等 ※3							未入力 点																									
8. その他 ※3							未入力 点																									
合計評定点		○評定点計 ( 65 点 ) - 7. 法令遵守等 ( 未入力 点 ) - 8. その他 ( 未入力 点 ) = 点																														
所見※4		(監督員)					(総括者)					(検査員)					(検査員)					(検査員)										

※1 1～3の評定 (65点±加減点合計) + 4～6の評定 (加減点合計) = 評定点  
 ※2 4. 工事特性、5. 創意工夫及び6. 社会性等の評定は、工事全般を通して、特に優れた技術等を加減点評価する。  
 ※3 7. 法令遵守等、8. その他の評価は、減点評価のみとする。  
 ※4 所見は、総合評定点が90点以上となった場合や特筆すべきことがあった場合に記載するものとする。  
 ※5 各考査項目ごとの採点は、工事監督員は様式-2K、総括者は様式-3K、検査員は様式-5Kによるものとし、検査員の評価に先立ち、工事監督員が記入する。  
 ※6 工種の欄は、該当する工事内容に基づき、「営繕工事成績評定目次」から選択する。  
 ※7 評定者は、釧路市請負工事成績評定要綱に基づき評定者を指定することとする。

〔記入方法〕 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
1. 施工体制	I. 施工体制一般	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ①作業の分担の範囲が、下請業者を含め、書面に明確に記載されている。 <input type="checkbox"/> ②品質管理体制が、書面に適切に記載されている。 <input type="checkbox"/> ③安全管理体制が、書面に適切に記載されている。 <input type="checkbox"/> ④現場の施工体制（品質管理、安全管理を含む）が、書面と一致している。 <input type="checkbox"/> ⑤工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。 <input type="checkbox"/> ⑥建設業退職金共済制度（建退共）の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> ⑦元請業者が、下請業者の施工結果を十分に検査している。 <input type="checkbox"/> ⑧現場における施工体制に対し、本支店等による十分な支援体制を整え実施している。 <input type="checkbox"/> ⑨「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> ⑩その他 理由：
			(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価			
a：施工体制が優れている。      b：施工体制が良好である。      c：施工体制が適切である。      d：施工体制がやや不適切である。 e：施工体制が不適切である。			
該当項目が90%以上	.....	a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満	..	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満	..	c	③ 評価値 (    0    %) = (評価数/対象評価項目数) × 100
該当項目が60%未満	.....	d	
	評価=	d	0 項目 0 %

〔記入方法〕 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

審査項目	細 別	対象	評価対象項目
1. 施工体制	II. 配置技術者 (現場代理人等)	<input type="checkbox"/> ①現場代理人として、工事全体の把握ができています。 <input type="checkbox"/> ②現場代理人として、監督職員への報告、協議等を書面で行っている。 <input type="checkbox"/> ③契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> ④工事請負契約書第18条（条件変更等）第1項（以下、「契約書第18条」という。）に基づく設計図書の照査を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑤書類及び資料が適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> ⑥作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。 <input type="checkbox"/> ⑦工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> ⑧作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> ⑨主任（監理）技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。 <input type="checkbox"/> ⑩施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等をよく指導している。 <input type="checkbox"/> ⑪施工等に伴う提案又は工夫をもって工事を進めている。 <input type="checkbox"/> ⑫「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> ⑬その他 理由：	(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			評価
a：配置技術者として優れている。    b：配置技術者として良好である。    c：配置技術者として適切である。 d：配置技術者としてやや不適切である。    e：配置技術者として不適切である。			
該当項目が90%以上	.....	a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満	.....	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満	.....	c	③ 評価値 (    0    %) = (評価数/対象評価項目数) × 100
該当項目が60%未満	.....	d	
評価＝		d	0 項目 0 %

※1. 建築一式工事を施工する場合において、一式工事の内容である他の建設工事(専門工事)を自ら施工する時は、当該専門工事に関し資格を有する者を置くものとする。なお、主任技術者が当該専門工事の資格を有していれば、専門技術者を兼ねることができる。

※2. 作業主任者を専任すべき作業は、労働安全衛生法施行令第6条による。

〔記入方法〕 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

審査項目	細 別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	1. 施工管理	<input type="checkbox"/>	①契約書第18条に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。
		<input type="checkbox"/>	②施工計画書が、工事着手前（計画内容に変更が生じた場合を含む）に提出されている。
		<input type="checkbox"/>	③施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。
		<input type="checkbox"/>	④施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。
		<input type="checkbox"/>	⑤施工計画書に基づき、日常の出来形・品質の管理を適切に行っている。
		<input type="checkbox"/>	⑥施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られている。
		<input type="checkbox"/>	⑦工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時に行われている。
		<input type="checkbox"/>	⑧施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。
		<input type="checkbox"/>	⑨一工程の施工の検査・確認の報告が、適時に行われている。
		<input type="checkbox"/>	⑩現場内での整理整頓が、日常的に行われている。
		<input type="checkbox"/>	⑪使用する建築材料（以下「材料」という。）・設備機材（以下「機材」という。）の調達 の計画及び搬入後の管理が適切である。
		<input type="checkbox"/>	⑫社内検査が計画的に行われている。
		<input type="checkbox"/>	⑬独自のチェックリスト等の管理基準により、管理されている。
		<input type="checkbox"/>	⑭低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。
		<input type="checkbox"/>	⑮建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に行われている。
		<input type="checkbox"/>	⑯「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に 対する改善が速やかに実施されている。
		<input type="checkbox"/>	⑰その他 理由：
			(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価			
a：施工管理が優れている。    b：施工管理が良好である。    c：施工管理が適切である。    d：施工管理がやや不適切である。 e：施工管理が不適切である。			
該当項目が90%以上	.....	a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満	.....	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満	.....	c	③ 評価値 (    0    %) = (評価数/対象評価項目数) × 100
該当項目が60%未満	.....	d	
評価＝	d	0 項	0 項目 0 %

〔記入方法〕 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	II. 工程管理	<input type="checkbox"/> ①実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。 <input type="checkbox"/> ②現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。 <input type="checkbox"/> ③工程のフォローアップを実施し、請負者の責により関連工事及び入居官署等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがない。 <input type="checkbox"/> ④現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。 <input type="checkbox"/> ⑤工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑥請負者の責による夜間や休日の作業がない。 <input type="checkbox"/> ⑦休日・代休の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑧近隣住民（入居官署等を含む）との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑨「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> ⑩その他 理由：	<input type="checkbox"/> (減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			評価
a：工程管理が優れている。    b：工程管理が良好である。    c：工程管理が適切である。    d：工程管理がやや不適切である。 e：工程管理が不適切である。			
該当項目が90%以上	.....	a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満	.....	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満	.....	c	③ 評価値 (    0    %) = (評価数/対象評価項目数) × 100
該当項目が60%未満	.....	d	
	評価=	d	0 項    0 項目    0 %

[記入方法] 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	III. 安全対策	<input type="checkbox"/> ①災害防止（工事安全）協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> ②店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> ③各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。 <input type="checkbox"/> ④安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> ⑤安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。 <input type="checkbox"/> ⑥新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> ⑦現場の各工程において適時適切に、安全管理の措置をしている。 <input type="checkbox"/> ⑧重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> ⑨山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> ⑩仮設工事において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> ⑪使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。 <input type="checkbox"/> ⑫工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。 <input type="checkbox"/> ⑬過積載防止に十分に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ⑭「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> ⑮その他 理由：	(減点)該当すればc評価とする。 <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、法令遵守の措置内容に該当する場合。 (減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
		評価	
a：安全対策が優れている。    b：安全対策が良好である。    c：安全対策が適切である。    d：安全対策がやや不適切である。 e：安全対策が不適切である。			
該当項目が90%以上	.....	a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満	..	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満	..	c	③ 評価値 (    0    %) = (評価数/対象評価項目数) × 100
該当項目が60%未満	.....	d	
	評価=	d	0 項    0 項目    0 %

[記入方法] 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	IV. 対外関係	<input type="checkbox"/>	① 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がない。
		<input type="checkbox"/>	② 工事施工にあたり、近隣住民（入居官署等を含む）と適切に協議及び調整を行っている。
		<input type="checkbox"/>	③ 引渡し時に入居官署に対し、保守管理について適切な説明を行っている。
		<input type="checkbox"/>	④ 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分りやすく周知している。
		<input type="checkbox"/>	⑤ 近隣住民（入居官署等を含む）対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。
		<input type="checkbox"/>	⑥ 現場のイメージアップに、取り組んでいる。
		<input type="checkbox"/>	⑦ 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。
		<input type="checkbox"/>	⑧ その他 理由：
			(減点)該当すれば d 評価とする。 <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すれば e 評価とする。 <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価			
a : 対外関係が優れている。    b : 対外関係が良好である。    c : 対外関係が適切である。    d : 対外関係がやや不適切である。 e : 対外関係が不適切である。			
該当項目が90%以上	.....	a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満	..	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満	..	c	③ 評価値 (    0    %) = (評価数/対象評価項目数) × 100
該当項目が60%未満	.....	d	
	評価=	d	0 項    0 項目    0 %

〔記入方法〕 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	1. 出来形	<input type="checkbox"/> ①承諾図等が、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ②施工図等が、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ③現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。 <input type="checkbox"/> ④施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。 <input type="checkbox"/> ⑤出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥出来形の管理方法を工夫している。 <input type="checkbox"/> ⑦解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。 <input type="checkbox"/> ⑧不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧その他 理由：	
		(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 工事請負契約約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。	
評価			
a：出来形が優れている。    b：出来形が良好である。    c：出来形が適切である。    d：出来形がやや不適切である。 e：出来形が不適切である。			
該当項目が90%以上	.....	a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満	..	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満	..	c	③ 評価値 (    0    %) = (評価数/対象評価項目数) × 100
該当項目が60%未満	.....	d	
	評価=	d	0 項    0 項目    0 %

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

〔記入方法〕 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

考査項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 建築工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ①材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ②品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> ③施工の各段階における完了時の、品質が適切である。 <input type="checkbox"/> ④躯体工事における施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> ⑤内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> ⑦その他 理由：
	工事比率		(減点)該当すれば d 評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すれば e 評価とする。 <input type="checkbox"/> 工事請負契約約款第 17 条に基づき監督職員が改造請求を行った。
評価			
a : 品質が優れている。    b : 品質が良好である。    c : 品質が適切である。    d : 品質がやや不適切である。 e : 品質が不適切である。			
該当項目が90%以上	.....	a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満	..	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満	..	c	③ 評価値 ( 0 %) = (評価数/対象評価項目数) × 100
該当項目が60%未満	.....	d	
	評価=	d	0 項    0 項目    0 %

※ 1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※ 2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※ 3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が 2 工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は 1.0 とする。

[記入方法] 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

考查項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 電気設備工事	□	<input type="checkbox"/> ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ②施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 <input type="checkbox"/> ③品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> ④システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ⑤機材及び施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> ⑦その他 理由：
	受変電設備工事		
	工事比率		
			(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 工事請負契約約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
評価			
a：品質が優れている。    b：品質が良好である。    c：品質が適切である。    d：品質がやや不適切である。 e：品質が不適切である。			
該当項目が90%以上	.....	a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満	..	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満	..	c	③ 評価値 (    0    %) = (評価数/対象評価項目数) × 100
該当項目が60%未満	.....	d	
	評価=	d	0 項    0 項目    0 %

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

〔記入方法〕 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

考查項目	細 別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 暖冷房衛生設備工事	□	<input type="checkbox"/> ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ②品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> ③施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 <input type="checkbox"/> ④システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> ⑤機材及び施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> ⑥不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> ⑦その他 理由：
	機械設備工事		
	工事比率		
		□	(減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 工事請負契約約款第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
評価			
a：品質が優れている。    b：品質が良好である。    c：品質が適切である。    d：品質がやや不適切である。 e：品質が不適切である。			
該当項目が90%以上	.....	a	① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満	..	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満	..	c	③ 評価値 (    0    %) = (評価数/対象評価項目数) × 100
該当項目が60%未満	.....	d	
	評価=	d	0 項    0 項目    0 %

※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。

※2. 目的物の品質の水準を評価すること。

※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

〔記入方法〕 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

(特性1/3)

審査項目 (細別)	評価対象項目	
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	<p>■建物規模への対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば1点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 延べ面積10,000㎡以上の建物</p> <p><input type="checkbox"/> 地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物。地下2階以上の建物</p> <p><input type="checkbox"/> 大空間のホール等を有する建物</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____)</p> <p>詳細評価内容:</p>
	<p>評価= 0 点</p>	
	<p>■建物固有の機能の難しさへの対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば1点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 対象建物の耐震レベル</p> <p><input type="checkbox"/> 建物機能の特殊性</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____)</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事</li> <li>・ 電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</li> <li>・ 研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物</li> </ul> <p>詳細評価内容:</p>
	<p>評価= 0 点</p>	
	<p>■建物固有の施工技術の難しさへの対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば1点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合【総合評価における技術提案は除く】</p> <p><input type="checkbox"/> 設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性</p> <p><input type="checkbox"/> 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____)</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事</li> <li>・ 特殊な工法及び材料等を採用した工事</li> <li>・ 特殊な設備システムを採用した工事</li> <li>・ 免震装置を設ける工事</li> <li>・ 大規模な山留め工法が必要な工事</li> <li>・ 敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行う工事</li> <li>・ 仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする 改修工事</li> </ul> <p>詳細評価内容:</p>
	<p>評価= 0 点</p>	

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。また、評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

(特性2/3)

考查項目 (細別)	評価対象項目	
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	<p>■ 厳しい自然・地盤条件への対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば1点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)</p> <p><input type="checkbox"/> 軟弱地盤、支持地盤の影響</p> <p><input type="checkbox"/> 雨・雪・風・気温等の影響</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: )</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事</li> <li>・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事</li> <li>・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事</li> </ul> <p>詳細評価内容:</p>
	<p>評価= 0 点</p>	
	<p>■ 厳しい周辺環境、社会条件との対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば1点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 地中埋設物等の作業障害</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: )</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事</li> <li>・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事</li> <li>・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事</li> <li>・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事</li> <li>・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事</li> </ul> <p>詳細評価内容:</p>
	<p>評価= 0 点</p>	

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。また、評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

(特性3/3)

審査項目 (細別)	評価対象項目	
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	■ 施工現場での対応	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば1点の加点とし、最大3点とする。 【長期工事における安全確保への対応】 <input type="checkbox"/> 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事(ただし全面一時中止期間は除く) 【災害等での臨機の措置】 <input type="checkbox"/> 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】 <input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 <input type="checkbox"/> 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 <input type="checkbox"/> 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 <input type="checkbox"/> 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事 <input type="checkbox"/> 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 <input type="checkbox"/> 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 <input type="checkbox"/> 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 <input type="checkbox"/> 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> その他(理由: ) 詳細評価内容:
(最大6点)	評価= 0 点	
評定計=0点		

※1. 工事特性は、最大6点の加点評価とする。なお、1項目に複数の内容がある場合又は、対象範囲が広い場合は、それ以上の点数を与えても良い。

※2. 「創意工夫」との二重評価は行わない。

※3. レ点を付した評価対象項目について、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

〔記入方法〕 評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

（創意 1 / 2）

考查項目・細別	評価対象項目
5. 創意工夫	<p>■準備・後片づけ関係</p> <p><input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 現地調査方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由：</p> <p>詳細評価内容：</p>
	<p>■施工関係</p> <p><input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取組み</p> <p><input type="checkbox"/> 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 電気設備工事等の配線、配管等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 照明・視界確保等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理及び品質向上等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設施工等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由：</p> <p>詳細評価内容：</p>
	<p>■品質関係</p> <p><input type="checkbox"/> 集計ソフト等の活用と工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 躯体工事の品質管理の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の検査・試験に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 品質記録方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由：</p> <p>詳細評価内容：</p>

【記入方法】評価する場合、評価対象項目の□にチェックマークを入れる。

（創意2/2）

審査項目・細別	評価対象項目
5. 創意工夫	<p><b>■安全衛生関係</b></p> <p><input type="checkbox"/> 安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等）</p> <p><input type="checkbox"/> 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫、</p> <p><input type="checkbox"/> 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 作業時における作業環境改善等の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由：</p> <p>詳細評価内容：</p>
	<p><b>■施工管理関係</b></p> <p><input type="checkbox"/> 出来形の管理等に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書または写真記録等に関する工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> C A D、施工管理ソフト等の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理技術（※6）を活用した施工管理の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由：</p> <p>詳細評価内容：</p>
(最大4点)	<p><b>■その他</b></p> <p>&lt;新技術活用&gt;※新技術に関する下記5項目での加点は最大4点とする。</p> <p>以下の項目評価に当たっては、活用効果調査票の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方による全ての活用効果調査票、新技術活用計画書・実施報告書等を確認した上で評価する。ただし、加点对象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加点点数を置かないものとする。</p> <p><input type="checkbox"/> (該当技術数： ) NET I S登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。(4点)</p> <p><input type="checkbox"/> (該当技術数： ) NET I S登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。(2点)</p> <p><input type="checkbox"/> (該当技術数： ) NET I S登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が従来技術と同程度である。(1点)</p> <p><input type="checkbox"/> (該当技術数： ) NET I S登録技術のうち、事後評価実施済み技術（「有用とされる技術」を除く）を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。(2点)</p> <p><input type="checkbox"/> (該当技術数： ) NET I S登録技術のうち、事後評価実施済み技術（「有用とされる技術」を除く）を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。(1点)</p> <p>※ここで「有用とされる技術」とは、国土交通省策定「公共工事における新技術活用システム」実施要領で定める「活用促進技術」、「推奨技術」、「準推奨技術」、「評価促進技術」等を言う。</p> <p>※複数の技術の評価におたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、最大4点の加点とする。複数の技術が同一の評価項目に該当した場合、該当技術に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価点数とするが、この場合も最大4点の加点とする。</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>理由：</p> <p>詳細評価内容：</p>
評定計=0点	

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点点数評価する。
- ※2. 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、項目により2、4点で評価し、最大4点の加点点数とする。
- ※3. 上記の審査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。  
なお、「工事特性」との二重評価は行わない。 ※4. 入札時の総合評価の提案に係る項目は評価しない。
- ※4. 入札時の総合評価の提案に係る項目は評価しない。
- ※5. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があつた項目を詳細評価内容欄に記載する。
- ※6. 施工合理化技術(プレハブ化、ユニット化、自動化施工(ICT施工、ロボット活用等)、BIM、ASP等を活用したもので施工の合理化に資するものに限る。)を採用した場合。
- ※7. 審査項目「創意工夫」の「■準備片付け関係」から「■安全衛生関係」までの4つの細分毎に、施工合理化技術を活用して効果があつた場合に、その他の理由に具体的内容を記載して加点する。さらに、当該技術がNET I S登録技術である場合は「■その他」<新技術活用>の項目に追加で加点できるものとする。